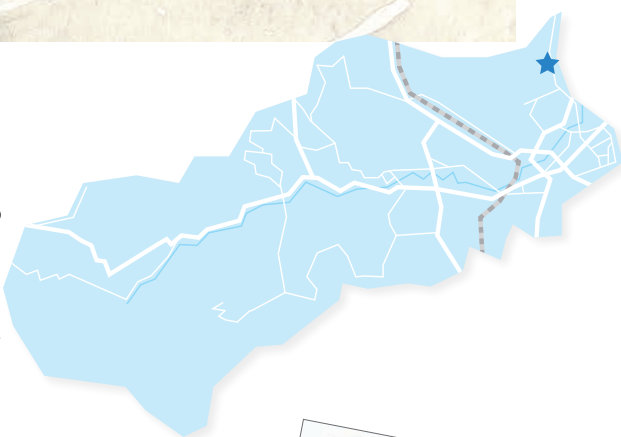




向日葵と紅葉（大字田黒地内）

11月下旬の昼下がり、小倉の里を描きに出かけた。季節外れの向日葵と紅葉した山の取り合わせに心が動かされ、道端で描き始める。制作がひと段落ついて、向日葵畑の横の道に入ってみると、水面に落ち葉を浮かべて、ゆったりゆっくりと川が流れている。槻川が、ここで、こんなに大きく回り込んで蛇行しているなんて！この場所を描かなかつたら知ることはなかったかもしれないなあ、と思った。



【編集後記】 広報の編集にも少しずつ慣れ、やっとカメラに時間を割くことができるようになってきた。とはいえ、未だにシャッターを切る手が震えるひよっこカメラマンだ。私の3か月分の給料を上回るハイスペカメラで撮影していると、プロカメラマンらしき風貌の人たちに囲まれアドバイスを求められる。申し訳ないがこちらが教えてほしい。人見知りの私は人物撮影が苦手だ。特に女性。自身を鼓舞し声をかけては断られ、その度に家で枕を濡らしている。広報といえど初対面の人にいきなり撮影されるのは緊張するのだろう。次回は「月が綺麗ですね」と雑談をはさみ撮影依頼するでしょう。きっと笑顔で承諾してくれるに違いない。【笠原】

